

東海道五十三次を往く

第18回

藤枝宿

城下町の風情が残り
今も老舗が点在



中世から田中城の城下町として栄えた藤枝宿。当時は、全長約2kmの長い宿並に、2軒の本陣、2カ所の問屋場、37軒の旅籠と県下有数の規模を誇っていた。宿場内にある白子町は、本能寺の変の際、駿河へ逃げる家康を伊勢白子の百姓・孫三が助け同地を授けられたことが、名の由来。記碑も残っている。本陣跡などの名残りはないが、複数の商店街が連なり、今もにぎわいをみせている。

上传馬商店街周辺

伝馬業務は、上传馬町・下伝馬町が中心となって務めていた。この上传馬には、2軒の本陣、1カ所の問屋場があった。



東海道で荷物を運ぶ際、出発地から目的地まで同じ人や馬が運ぶのではなく、宿場ごとに人馬を交替して運ぶ「伝馬制」を取り入れていた。この絵は宿場の問屋場で、人足の数を点検したり、馬の背に荷物を積み替えたりする人馬継連の様子が描かれている。

珍しい円形の平城で、
亀城ともいう



史跡田中城下屋敷

家康が鷹狩りに訪れたことでも有名な田中城は、代々城主が幕府の要職に就いたことから「出世城」とも呼ばれた。慶長6(1601)年、酒井忠利が入城すると、円形の外郭(外曲輪)と外堀(四ノ堀)を設け、藩士の侍屋敷を造成できるよう増改修。城の南東隅にある下屋敷(別荘)では、築山、泉水、茶屋などを設け、四季の景色を楽しんだという。

☎054-644-3345
静岡県藤枝市田中3-14-1
◎9時～17時 ㊟月曜、祝日の翌日
入場無料



日本橋から
約200km
まで来ました！

二十二番目の宿場「藤枝宿」。花と緑、水が豊かな宿場跡をミスモ編集部がめぐりました。



これで「やまなし
じんじや」と読む



月見里神社

周囲に山がなく、月が良く見えることから「月見里」と書いて、「やまなし」と読まれている。神社本殿の後ろにある、幹が二股になった大クスノキは、藤枝市の天然記念物に指定されている。



おみやげ

おたけせんべい 430円(5枚入り)
藤枝宿で活躍した義太夫の天野安次郎の妻、たけによって始められた。梅を好んだ地元の文人、石野雲嶺宅に咲く梅に心奪われ、その形の煎餅を焼いて旅人を癒したという。国産100%のうるち米を使い、上品な甘さとしょうゆ味であっさり仕上げている。

おたけせんべい本舗
☎054-641-0979
静岡県藤枝市藤枝4-1-16
◎9時～17時 ㊟月曜



続く！